

SNS等の利用による問題の未然防止、早期解決に向けて

ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）等の不適切な利用により、生活習慣の乱れやSNS依存症を招いたり人間関係がこじれたりするなど、子どもたちの中に大きな問題が生じています。

富岡市立西中学校では、保護者、地域、関係機関等と連携して、学校全体で問題の解決に取り組んでいます。本校の実践を参考に、SNS等の利用による問題の未然防止、早期解決に向けた取組の充実を図りましょう。

「生徒のSNS等の利用による問題の解決に向けた実践」 富岡市立西中学校

本校では、生徒の携帯電話やスマートフォンの所持率が年々高まっています。それらを所持している生徒は、部活動の練習予定の連絡や翌日の授業準備の確認などにメールやラインを使っていることが多いようです。中には、学校への持ち込みは禁止になっているにもかかわらず持ち込む生徒や、友達の顔写真をライン上に流してしまう生徒もあり、生徒指導上の問題となりました。

そこで、本校では、平成25年度に携帯電話、スマートフォン、SNS等の利用に伴う問題に対応するとともに、生徒が夢をもって学校生活にしっかり取り組めるよう、生徒や保護者はもちろん、地域にも向けた講演会や懇談会などを計画、実施しました。

【実践1】保護者対象の講演会の実施（6月28日）

ぐんま子どもセーフネット活動委員会から講師を招き、SNS等の利用による問題の現状と親としての携帯電話等の管理の必要性について知ってもらい、保護者への啓発を図りました。本校の保護者だけでなく、校区内3小学校の保護者及び教職員へも広く参加を呼びかけました。

【実践2】第1回学校保健委員会での講演会の実施（7月11日）

富岡保健福祉事務所の保健師による「SNS依存症について」の講話を聞きました。具体的な症状や、依存症にならないSNSの利用の仕方等について学びました。

【実践3】PTA地区懇談会の実施（7月24日）

保護者に加えて、区長・青少年健全育成団体の担当者などにも参加していただき、本校の問題への取組状況を紹介し、学校・家庭・地域が三位一体となった今後の取組について話し合いました。

【実践4】保護者会の実施（9月12日）

保護者会を開催し、保護者が生徒に与えている携帯電話等の管理の在り方について話し合いました。

【実践5】生徒の夢を育む講演会の実施（10月1日・10月31日・12月1日）

群馬経済同友会の方やIHIエアロスペースの新入社員、東日本大震災被災地の小学校の教頭先生を講師に招き、大変さや苦しさの中でも夢の実現に向けて進むことの大切さについて話を聞きました。

【実践6】生徒対象の講演会の実施（12月20日）

ぐんま子どもセーフネット活動委員会から講師を招き、SNSの問題点や利用方法について全校生徒が講演を聞き、適切な利用について考えました。

【実践7】第2回学校保健委員会での講演会の実施（2月6日）

「メディア漬けの生活を考え直す」をテーマに実施しました。「学校保健委員会便り」でポイントをまとめ、本校生徒をはじめ、保護者や地域関係者へ広く知っていただきました。

これらの取組によって、本校では問題解決の方向へ大きく向かっています。平成26年度も、生徒の更なる健全育成に向けて、家庭や地域との連携を深め、小・中学校間連携も更に強化し、SNS等の問題の未然防止とともに、生徒一人一人の夢の実現に向けた取組を計画し、実施していきます。

<PTA地区懇談会>



<全校生徒対象講演会>



群馬県では、SNS等の利用に関わる問題の未然防止のために、「おぜのかみさま」県民運動を進めています。「SNS等の利用に関わる講習会」の開催について、講師派遣等のご相談は、西部教育事務所生涯学習係（027-322-5969）まで、ご連絡ください。